

人と自然が寄り添う未来へ

生物多様性の保全

基本的な考え方

自然環境との調和は、人類にとって重要な責務であると認識しています。社員一人ひとりが環境保全活動や生物多様性保全活動を通じ、豊かな地球環境を守っていくため、「みどりいっぱいプロジェクト」を推進しています。

「みどりいっぱいプロジェクト」の推進



NTT西日本グループは、年間約17億kWhという電力を使用し、それに伴って大量のCO₂を排出しています。電力エネルギーを大量に使用する企業の責務として、消費電力の削減に加えて、地球環境保護にも積極的に取り組んでいます。

これまででも、NTT西日本グループは、各地で生物多様性保全活動を行ってきましたが、活動を発展させるため、2012年11月より活動名称を統一し、NTT西日本「みどりいっぱいプロジェクト」として展開しています。

「みどりいっぱいプロジェクト」の概要

NTT西日本「みどりいっぱいプロジェクト」は、植樹を核として、地域の自然的・社会的条件に応じた生物多様性の保全のため、自治体・NPO等と連携しながら、展開する生物多様性保全活動です。西日本エリア30府県において地域密着の活動を実施しています。

おもな取組み



2020秋の「藤前干潟クリーン大作戦」へ参加

2020年10月31日、年間100種類以上の野鳥が飛来しラムサール条約に登録されている愛知県の藤前干潟・庄内川・新川河口付近で開催された「藤前干潟クリーン大作戦」にNTT西日本東海グループの社員や家族、退職者等45人が参加しました。

1時間ほどの作業が終わるころには堤防沿いに回収したごみ袋の山ができました。近年は環境保護に対する意識の高まりから投棄ごみの量も減少傾向にありますが、河川敷周辺へのペットボトルや発泡スチロール、空き缶等のポイ捨てが、多く残っていました。清掃活動後に例年実施していた「干潟観察会」および「ヨシ原保全活動」の体験は、新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点から見合わせました。



堤防沿いのごみを回収



NTT西日本グループからは45人が参加

「第18回 安倍川流木クリーンまつり」に参加

2020年11月15日、静岡市葵区の安倍川親水広場河川敷で、国土交通省静岡河川事務所等の実行委員会が主催する「第18回 安倍川流木クリーンまつり」が開催されました。NTT西日本 静岡グループからは社員とその家族、退職者、総勢150人が参加し、約57m³のごみを回収しました。

安倍川は全長約51kmの大河川で、伏流水は静岡市の水道水にも使われていますが、台風や集中豪雨等の出水により河原や河口、さらには周辺の海岸等に大量に漂着する流木やごみが問題となっていました。さらに近年は気候変動の影響で台風の接近・上陸が増え、これまでにない大きさや種類の流木やごみが漂着するようになりました。

流木による影響は河川敷の自然環境のみならず、地域の環境、海岸や山林の荒廃、漁業への被害等、多岐にわたり、駿河湾名産の桜えびやしらすの漁獲量減少の一因ともいわれています。NTT西日本 静岡グループでは、美しく豊かな自然環境を後世へと大切に守り継いでいくために、今後も環境保護活動に取り組んでいきます。



協力してごみを回収



河原には大きな流木も

「神園山小山山緑地の里山化」作業に参加

2020年12月12日、NTT西日本 熊本グループの社員やその家族等約45人が熊本市東区の神園山小山山緑地(こうぞのやまおやまやまりよくち)で里山化作業に参加しました。

この活動は緑地にある繁殖力の強い孟宗竹(もうそうちく)が土中の養分を吸収して、日光を遮り、周囲の樹木が枯れてしまう「竹害」の対策として、緑地の一角を里山化することが目的です。「NPO法人地球緑化の会」が熊本市から委託を受けているもので、熊本グループとしての参加は8回目となりました。

NTT西日本 熊本グループは今後も本活動を通じて地域の方々との交流を深め、率先して環境保護を推進していきます。



パンジーの植えつけの様子



刈った大量の草